

二〇〇六年九月議会 一般質問

二〇〇六年九月一三日（火）午後（五番目）

日本共産党 藤木くにあき

庄原選挙区選出の日本共産党の藤木くにあきでございます。私は、市民のくらしをまもる市政を推進する立場から、市長ならびに教育長に5つの項目について質問いたします。

質問の第一は、予算編成方針の問題についてです。

まもなく新年度予算の編成時期を迎えます。私たち日本共産党の議員団は、昨年度の予算編成に対する要望書でも明らかにしているように、「限られた財源のなかで、市民の福祉や教育の増進を図ることを基本とする財政運営に改められること。」「そのために、投資的経費である普通建設事業について、その優先順位、事業規模などを抜本的に見直し、無理のない計画にする必要がある」と考えていますが、市長の考えておられる新年度予算編成方針の基本はどのようなも

のか、明確な答弁を求めるものです。

質問の第二は、生活保護世帯に対する「医療受診カード」の交付の問題についてです。

長引く不況と社会福祉制度などの後退によって、全国的に生活保護世帯が増えています。

そこで、お尋ねいたします。

庄原市内の生活保護世帯数の動向は近年どうなっているのでしょうか。

私は、生活保護世帯の方が肩身の狭い思いをすることがないように、健康保険証に類似した「医療受診カード」を交付すべきだと考えますが、弱者の視点に立つと公約されている市長は、この問題をどのようにお考えでしょうか。明確な答弁を求めるものです。

質問の第三は、盲導犬の導入に助成金をだすという問題についてです。

ご承知のように盲導犬は、視力障害者の方の自立に大きく貢献しています。しかし、その運営は、善意の寄付金にたよっているのが実情です。そこで、お尋ねいたします。

現在市内に視力障害者は何名おられるのでしょうか。

現在市内で盲導犬は何頭導入されているのでしょうか。

また、盲導犬の導入には1頭あたりいくらかかるのでしょうか。

それに対し、庄原市はどのような助成をおこなっているのか、明確な答弁を求めるものです。

質問の第四は、産婦人科医師の確保の問題についてです。

庄原赤十字病院の常勤の産婦人科医師がいなくなつて1年

5ヶ月が経過しようとしています。6月議会でも質問しましたが、極めて重要な問題であり重ねて質問いたします。

6月議会以降の具体的なとりくみはどうなっているのか。

12月にかけて医局の人事が決まる重要な時期を迎えますが、今後どのようにとりくもうとしておられるのか。

また、市民の世論を改めて結集する必要があると考えますが、

市長はどのようにお考えでしょうか。明確な答弁を求めるものです。

質問の第五は耐震診断の結果とその対策の問題についてです。

小中学校の耐震診断は完了したと思いますがその結果はどうだったのか。建築年次の古い学校から順次答弁を求めるものです。

また、この結果を受けて、今後どのように対応しようと考えておられるのか、明確な答弁を求め、私の質問いたします。